



志木二小だより

令和6年度10月31日号

志木市立志木第二小学校

志木市館1丁目2番1号

TEL 472-0540

<http://www.shiki2syo.ed.jp/> 志木二小 検索

学校教育目標 **進んで学ぶ子 心の豊かな子 体をきたえる子**

児童数	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	たんぼぼ	10/31現在
	74	80	84	83	82	75	13	491

だいじょうぶ だいじょうぶ

～仲間といっしょに 全力で～

校長 佐々木 幸

明日から11月。木々の紅葉、落葉が、秋の深まりを感じさせるだけでなく、立冬も間近となり、朝夕の冷え込みが、一段と身にしみる季節となつてまいりました。

さて、先日の運動会では、開催1週間前までは、天気心配がありました。秋晴れの中、来賓の皆様、多くの地域、保護者の皆様のご声援をいただきながら、第57回運動会を実施することができました。運動会では、校庭中に響き渡る応援の声、高学年の責任を果たす係活動、ゴールを見据えて力いっぱい駆け抜けた徒競走、それぞれの学年の良さを改めて感じた表現、1本のバトンを必死になぐりレー。そして、それを懸命に応援する姿、最後の全校種目「大玉送り」では、最後の最後までドキドキする結果に。それぞれの場面で、全力を出し切る子供たちの姿に感動し、また頼もしさを感じました。



また、今日の全校集会では、読書の秋ということもあり、「だいじょうぶ だいじょうぶ (いとうひろし作・絵)」という絵本を子供たちと味わいました。子供たちには、運動会や絵本を通して、全力で取り組むことの大切さについて、伝えました。たとえその結果が、うまくいっても、そしてうまくいかなかったとしても、全力で取り組んだことに大きな価値があると考えています。また、そんな全力でがんばる仲間が、もしも、うまくいかなかったり、失敗してしまったりした時には「だいじょうぶ だいじょうぶ」と声をかけることができるような広い心を持って欲しいということも伝えました。

最近、人生100年時代ともいわれます。6年生(12歳とすると)の児童を時計に置き換えてみると、まだまだ午前3時前頃、夜明け前になるのでしょうか。小学生だからこそ、挑戦できること、体験すべきこともあるかと思えます。その中には、もちろん成果があつて、喜ばしいこともありますし、がんばったけれども、うまくいかないとき、思い通りにいかないこともあるかと思えます。私自身親として、つつい子供に失敗をさせたくないと思ってしまう時もあります。しかし、成功も失敗も含めて、全ての経験が子供たちの未来を作っていきます。だからこそ子供たちには、まだまだ自分の可能性を決めつけずに、様々なことに挑戦してほしいと思います。その時に、もしうまくいかなかったら、「だいじょうぶ だいじょうぶ」と声をかけ、一緒に次の目標に向かっていけるような大人でありたいと、今日、子供たちと絵本を味わいながら改めて強く感じました。これから、寒い日も増えてまいります。ご自愛いただくとともに、子供たちの健康管理でも、大変お世話になりますが、よろしく願いいたします。

＜志木二中学区で育てる力～社会で胸を張って自己実現できる子を育てるために～＞

10月には、志木二中の先輩方から部活動の素晴らしさについて教えていただく場面が、たくさんありました。10月1日には吹奏楽部の迫力ある演奏を5・6年生が聴かせていただきました。また15日からの週では、様々な部活動見学もさせていただきました。部活動の様子を実際に見ることができるのは、とても貴重な経験です。6年生は、半年後の入学にむけ、期待感を持ったり、不安感を払しょくしたりすることができたのではないのでしょうか。映像ではなく、リアルな体験の良さを味わうこともできました。

